

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

#4



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日
Date of Application:

2000年 5月29日

出願番号
Application Number:

特願2000-158679

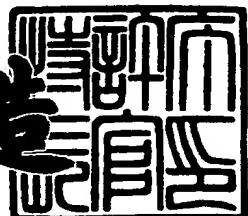
出願人
Applicant(s):

荒井 伸也
株式会社クレオ

2000年 8月 4日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3060588

【書類名】 特許願
【整理番号】 00-0782
【提出日】 平成12年 5月29日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

【住所又は居所】 東京都世田谷区代田 6-12-21
【氏名】 荒井 伸也

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都世田谷区代田 6-12-21
【氏名又は名称】 荒井 伸也

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都渋谷区神宮前 3-27-19
【氏名又は名称】 株式会社クレオ

【代理人】

【識別番号】 100088155

【弁理士】

【氏名又は名称】 長谷川 芳樹

【選任した代理人】

【識別番号】 100089978

【弁理士】

【氏名又は名称】 塩田 辰也

【選任した代理人】

【識別番号】 100092657

【弁理士】

【氏名又は名称】 寺崎 史朗

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014708

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
【物件名】 図面 1
【物件名】 要約書 1
【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 買い物情報提供システム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 買い物情報を提供するサーバであって、

入力されたパスワードつきIDを受け取り利用者の認証を可能にし、利用者のIDと利用者の家族情報を対応させて記憶している顧客データベースと、

料理項目と、その料理のために必要な材料の種類、その必要量とを対応させて記憶している料理データベースと、

利用者からの入力に応じて、前記顧客データベースを用いて利用者を認証し、認証された利用者の家族構成情報を記憶する第1記憶手段と、

利用者からの料理選択情報を受け取り、選択された料理から、その料理のために必要な商品の種類、その必要量を記憶する第2記憶手段と、

前記第1記憶手段に記憶された家族構成情報と前記第2記憶手段に記憶された商品の種類、その必要量とから、選択された料理に必要な家族全体で必要な全体必要量を算出する算出手段と、

前記算出手段により算出された商品、算出必要量を記憶する情報提供手段と、

提供元と、特売商品と価格とを関連付けて記憶している特売情報データベースと、

前記情報提供手段に記憶されている商品と前記特売情報データベースに記憶されている商品群とを比較し、一致するものがある場合には、一致している商品に符号を付し、また、特売情報データベース内の特売情報であって、認定された利用者によって選択された特売情報をその提供元と関連付けて前記情報提供手段に記憶させ、

前記認証された利用者の要求に応じて、前記情報提供手段に記憶されている情報を、前記認証された利用者に提供する買い物情報提供サーバ。

【請求項2】 クライアント装置と、買い物情報を提供するサーバ装置により構成される買物情報提供システムであって、

利用者のIDと利用者の家族情報を対応させて記憶している顧客データベースと、

料理項目と、その料理のために必要な材料の種類、その必要量とを対応させて記憶している料理データベースと、

利用者からの入力に応じて、前記顧客データベースを用いて利用者を認証し、認証された利用者の家族構成情報を記憶する第1記憶手段と、

利用者からの料理選択情報を受け取り、選択された料理から、その料理のために必要な商品の種類、その必要量を記憶する第2記憶手段と、

前記第1記憶手段に記憶された家族構成情報と前記第2記憶手段に記憶された商品の種類、その必要量とから、選択された料理に必要な家族全体で必要な全体必要量を算出する算出手段と、

前記算出手段により算出された商品、算出必要量を記憶する情報提供手段と、

提供元と、特売商品と価格とを関連付けて記憶している特売情報データベースと、

前記情報提供手段に記憶されている商品と前記特売情報データベースに記憶されている商品群とを比較し、一致するものがある場合には、一致している商品に符号を付し、また、特売情報データベース内の特売情報であって、認定された利用者によって選択された特売情報をその提供元と関連付けて前記情報提供手段に記憶させ、

前記認証された利用者の要求に応じて、前記情報提供手段に記憶されている情報を、クライアント装置へ提供する買い物情報提供クライアント・サーバシステム。

【請求項3】 買い物情報を提供する方法であって、

入力されたパスワードつきIDを受け取り、利用者の認証を可能にし、利用者のIDと利用者の家族情報を対応させて記憶している顧客データベースを利用して、利用者を認証し、認証された利用者の家族情報を選択して記憶する工程と、

料理項目と、その料理のために必要な材料の種類、その必要量とを対応させて記憶している料理データベースを利用し、利用者に選択された料理のために必要な材料の種類、その必要量を記憶する工程と、

記憶された家族構成情報と記憶された材料の種類、その必要量とから、選択された料理に必要な家族全体で必要な全体必要量を算出する算出工程と、

供給元からの特売商品と価格とを含む特売情報を、供給元と関連付けて記憶する工程と、

前記算出工程で得られた材料と、前記特売情報データベースに記憶されている商品群とを比較し、一致するものがある場合には、一致している特売商品の特売情報を、算出工程で算出した情報と共に、前記認証された利用者に提供する工程とを備えた買い物情報提供方法。

【請求項4】 請求項1に記載の買い物情報提供サーバにおいて、更に、利用者IDと関連付けられた在庫情報を記憶している在庫情報データベースを備え、在庫情報データベース内の在庫不足情報を前記認証された利用者に提供する買物情報提供サーバ。

【請求項5】 請求項2記載の買い物情報提供クライアント・サーバシステムにおいて、更に、利用者IDと関連付けられた在庫情報を記憶している在庫情報データベースを備え、在庫情報データベース内の在庫内情報を前記認証された利用者に提供することを特徴とする買い物情報提供クライアント・サーバシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、買い物情報を提供するシステムに関し、更に詳細には、利用者の情報に基づいて、選択した料理に必要な材料の内容、量を算出して、特売情報と比較し、特売品に関する情報を加味して、購入すべき商品に関する情報を利用者に提供するシステムに関する技術である。

【0002】

【従来の技術】

現在、インターネット上には利用者に対して種々の情報を提供するウェブサイトが存在する。特に、商品の種類及びこれに対応した価格情報を提供して、利用者の購買を促すものがある。

【0003】

しかし、現在、インターネット上に存在するウェブサイトでは、利用者の家族

情報、在庫情報を加味して、所望の料理に必要な過不足のない材料の種類、量の購入に関する情報を提供できるウェブサイトは存在していなかった。そのため、利用者は、まず、料理の本等より、所望の料理に関する必要な材料の種類を案出し、家族構成に基づいての必要量と在庫量とに基づいて、購入しなければいけない量を計算し、まとめたり、各スーパーマーケットからの特売情報をチラシの上で個々に検討し、必要なもの、特売のものを書き出し、購入しなければならない食料品等の情報を得ていた。このように利用者は、まず、自分で所望の料理に必要な材料、その材料の量的な情報、更にそれらに必要な商品の必要量を計算しなければならず不便であった。また、それらの商品が果たしてスーパーマーケット等の特売品であるかをスーパーマーケットのそれぞれのチラシから探し、自宅での在庫の有無及び在庫量を常に、把握している必要があり、日々の食事を家族のために準備している利用者にとっては、日々の料理の選択、買い物が頭痛の種であった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

そこで、本発明は、上記の問題点を解決し、利用者に適切な買い物情報を提供する買い物情報提供システムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、入力されたパスワードつきIDを受け取り利用者の認証を可能にし、利用者のIDと利用者の家族情報を対応させて記憶している顧客情報データベースと、料理項目と、その料理のために必要な材料の種類、その必要量とを対応させて記憶している料理データベースと、利用者からの入力に応じて、前記顧客データベースを用いて利用者を認証し、認証された利用者の家族構成情報を記憶する第1記憶手段と、利用者からの料理選択情報を受け取り、選択された料理から、その料理のために必要な商品の種類、その必要量を記憶する第2記憶手段と、前記第1記憶手段に記憶された家族構成情報と前記第2記憶手段に記憶された商品の種類、その必要量とから、選択された料理に必要な家族全体で必要な全体必要量を算出する算出手段と、前記算出手段により算

出された商品、算出必要量を記憶する情報提供手段と、提供元と、特売商品と価格とを関連付けて記憶している特売情報データベースと、前記情報提供手段に記憶されている商品と前記特売情報データベースに記憶されている商品群とを比較し、一致するものがある場合には、一致している商品に符号を付し、また、特売情報データベース内の特売情報であって、認定された利用者によって選択された特売情報をその提供元と関連付けて前記情報提供手段に記憶させ、前記認証された利用者の要求に応じて、前記情報提供手段に記憶されている情報を、前記認証された利用者に提供する買い物情報提供サーバ。を提供することを目的とする。

【0006】

更に、本発明は、相互の通信手段により接続された買い物情報提供サーバ・クライアントシステムであって、利用者のIDと利用者の家族情報を対応させて記憶している顧客データベースと、料理項目と、その料理のために必要な材料の種類、その必要量とを対応させて記憶している料理データベースと、利用者からの入力に応じて、前記顧客データベースを用いて利用者を認証し、認証された利用者の家族構成情報を記憶する第1記憶手段と、利用者からの料理選択情報を受け取り、選択された料理から、その料理のために必要な商品の種類、その必要量を記憶する第2記憶手段と、前記第1記憶手段に記憶された家族構成情報と前記第2記憶手段に記憶された商品の種類、その必要量とから、選択された料理に必要な家族全体で必要な全体必要量を算出する算出手段と、前記算出手段により算出された商品、算出必要量を記憶する情報提供手段と、提供元と、特売商品と価格とを関連付けて記憶している特売情報データベースと、前記情報提供手段に記憶されている商品と前記特売情報データベースに記憶されている商品群とを比較し、一致するものがある場合には、一致している商品に符号を付し、また、特売情報データベース内の特売情報であって、認定された利用者によって選択された特売情報をその提供元と関連付けて前記情報提供手段に記憶させ、前記認証された利用者の要求に応じて、前記情報提供手段に記憶されている情報を、クライアント装置へ提供する買い物情報提供クライアント・サーバシステム。を提供することを目的とする。

【0007】

更に本発明は、入力されたパスワードつきIDを受け取り、利用者の認証を可能にし、利用者のIDと利用者の家族情報を対応させて記憶している顧客データベースを利用して、利用者を認証し、認証された利用者の家族情報を選択して記憶する工程と、料理項目と、その料理のために必要な材料の種類、その必要量とを対応させて記憶している料理データベースを利用し、利用者に選択された料理のために必要な材料の種類、その必要量を記憶する工程と、記憶された家族構成情報と記憶された材料の種類、その必要量とから、選択された料理に必要な家族全体で必要な全体必要量を算出し記憶する算出記憶工程と、供給元からの特売商品と価格とを含む特売情報を、供給元と関連付けて記憶する工程と、前記算出記憶工程で得られた材料と、前記特売情報データベースに記憶されている商品群とを比較し、一致するものがある場合には、一致している特売商品の特売情報を、前記算出記憶工程で記憶された情報と共に、前記認証された利用者に提供する工程とを備えた買い物情報提供方法を提供することを目的とする。

【0008】

以上のように、本発明の買い物情報を提供するサーバ、クライアント、これらのシステム及び買い物情報を提供する方法では、家族情報に基づいて選択された料理に関する全体必要量を自動的に算出するとともに、更に特売品情報と比較し、その料理に使用される材料が特売品としてあるかどうかを利用者に知らせ、料理の決定及び利用者の購入すべき商品の選択を促進補助することができる。

【0009】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明の買い物情報提供システムの一実施例を説明する。図1は本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。

【0010】

図1に示すように、本発明に従う実施例の買い物情報提供システムでは、クライアント装置101、102と、特売情報を提供する提供元201、202、例えばスーパーマーケット等と、買い物情報提供サーバ301により構成され、これらの装置は、インターネット401により接続され、互いに情報のやり取りができるように構成されている。

【0011】

買い物情報提供サーバ301には、利用者のID、パスワード、家族構成情報を、利用者のIDに関連付けて記憶している顧客情報データベース302、料理項目と、その料理を作る上で必要な材料の種類、必要量を、料理項目に関連付けて記憶している料理データベース303と、提供元201、202より入力される特売品、この特売品の価格、更に提供元情報を、特売品又は提供元情報に関連付けて記憶している特売品情報データベース304と、利用者のIDに関連付けて、利用者の在庫情報を記憶している在庫情報データベース305と、これらのデータベースの情報から抽出された情報を演算する演算装置306が設けられ、データバス307を介して互いに通信可能に接続されている。そして、データバス307には、利用者に提供する情報を一時的に記憶している提供手段308が接続されている。

【0012】

顧客情報データベース302及び在庫情報データベース305には、サーバへの外部からに要求に応じて、入力された利用者のIDに関連付けられた情報を一時的に記憶しておく記憶手段302a、305aがそれぞれ設けられており、また料理データベース303では、入力された料理選択情報に基づいて、選択された料理の材料、必要量を一時的に記憶しておく記憶手段303aが接続されている。

【0013】

顧客情報データベース302、料理データベース303、特売品情報データベース304、在庫情報データベース305に記憶されている情報は、図2に示す構成となっている。

【0014】

図2(a)に示すように、顧客情報データベース302は、利用者ID、パスワード、家族の総人数、特徴、例えば、減塩食とか、中低カロリーとかの情報が、利用者IDをキーとして記憶されている。

【0015】

また、料理データベース303は、図2(b)に示すように、料理名、一人当たり必要な材料名、それぞれの材料の必要量、その料理を作るためのレシピ、及び

その料理のカロリーを、料理名をキーとして記憶している。この料理データベース303は、外部からの操作により、随時更新可能であり、季節に促した内容となるように更新できる。

【0016】

更に特売品情報データベース304は、図2(C)に示すように、提供元、特売品、特売品価格、更に、特記事項、例えば、季節物の紹介、宣伝文句が、提供元及び特売品をそれぞれキーとして検索可能なように記憶されており、この内容は、提供元201、202、例えばスーパーマーケット等からのアクセスにより更新され、最新の情報が記憶されるように構成されている。

【0017】

更に、在庫情報データベース305は、利用者IDをキーにして、その利用者の家庭内の常備品、例えば、醤油、塩、みそ、等の調味料等の有無を記憶している。

【0018】

これらの顧客情報データベース302、料理データベース303、特売品情報データベース304、在庫情報データベース305を用いて、買物情報提供サーバに、インターネットを介してアクセスしてきた利用者のIDをキーにして、利用者に情報の入力を促すと共に、入力されたデータの基づいて、選定した料理を作るのに必要な商品のリスト及びそれらの商品の購入すべき量、更に、選定した料理のレシピ、更に、特売品情報、特に選択した料理に必要な材料(商品)が特売となっているかを特定して、また、更に利用者の在庫しておくべき常備品の購入の必要性を利用者に提供する。

【0019】

図3に、上記買物情報提供システム、特に買物情報提供サーバの動作のフローチャートを示す。

【0020】

図3に示すように、まず、利用者Aが、クライアント装置101又は102を使用して、インターネットを介して買物情報提供サーバへのアクセスがあるとすると、顧客情報データベース302にアクセスし、既に登録された利用者である

かどうかを調べ、既に登録された利用者である場合には、顧客情報データベース302より、そこに記憶されている家族構成情報、例えば、総人数、特記事項、すなわち、高血圧用の料理が好ましいかどうかを、一時記憶手段302aに記憶させる。一方、未登録者であれば、登録を促し、同意したときは、所定の事項、例えば、図2(a)に示すような家族構成情報の入力を促す。そして、これらの家族構成情報の入力の完了及び利用者の登録の意志確認が入力されると、利用者ID及びパスワードを発行する。そして次回より、その利用者IDとパスワードを用いて入力された場合には、既登録者として以下の処理を行っていく。

【0021】

そして、既登録者として認定された利用者101a、そのID-Aで特定された家族情報及び特売情報データベース304に記憶された情報及び料理データベース303に記憶された情報を用いて、選択可能の料理のリストを利用者に提示し、そのいずれを選択するかの選択を促す。この選択の促しに応じて、認定された利用者101aは、料理、例えば「牛もものたたきと千切り野菜のハーブソース」を選択する。買物情報提供サーバ301は、利用者101aからの選択指示の基づいて、料理データベース303にアクセスし、「牛もものたたきと千切り野菜のハーブソース」料理を作るのに必要な商品「牛もも肉、レタス、にんじん、きゅうり」及びその商品の量「100g、0, 25枚、0, 02個、0. 25本」を、一時的に第2記憶手段303aに記憶する。次に第1記憶手段302aに先の記憶されている家族情報から作るべき料理の人数「5人」を取り出し、その人数「5人」と、第2記憶手段303aに記憶されている必要な商品の量「牛もも肉：100g、レタス：0. 25枚、にんじん：0. 02個、きゅうり：0. 25本」とを演算手段306で積算する（牛もも肉：500g、レタス：1. 25枚、にんじん：0. 1個、きゅうり：1. 25本）。そして、必要な商品及びこの商品毎に積算された結果（牛もも肉：500g、レタス：1. 25枚、にんじん：0. 1個、きゅうり：1. 25本）を情報提供手段308に記憶させる。次に、情報提供手段に記憶された料理に必要な商品「牛もも肉等」と、特売品情報データベースに記憶された特売品情報「ぎゅ牛もも肉、厚揚げ、醤油」とを比較し、情報提供手段308に記憶された商品、ここでは、牛もも肉、に相当する特売

品（牛もも肉）があるかどうかを調査して、相当する特売品がある場合には、上記例では、牛もも肉、その記憶された商品に特売品であることを示す符号を付し、情報提供の際、利用者101aの注意を促す。

【0022】

一方、上記処理の際、在庫情報データベース305から、認定された利用者101a(ID-A)の在庫情報をチェックし、在庫がなくなっている常備品、この実施例では塩、を提供手段に記憶させる。この在庫情報のチェックは、自動で検知するように、すなわち、在庫されている常備品の存在を、自動的にチェックするようにしても、また、利用者が、目で確認し、手入力するようにしてもよい。また、在庫がないと判断された常備品は、特売情報データベース304内の特売品と比較され、もし一致しているものが有れば、提供手段308に一致している旨の特徴づけをされて記憶され、購入すべき商品と特に特徴づけられて、情報提供される。

【0023】

更に、特売品情報データベース304に記憶された特売品情報、本実施例では、「厚揚げ、生姜、牛もも肉、レタス、にんじん、きゅうり」は、認定された利用者101aに選択を促すために通知され、この通知に応じて、利用者により選択された特売品情報も提供手段308に記憶される。

【0024】

そして、認証された利用者101aの要求に応じて、提供手段308に記憶された情報、すなわち料理名「牛もも肉のたたきと千切り野菜のハーブソース」、料理に必要な商品「牛もも肉、レタス、にんじん、きゅうり」その必要量「500g、1.25枚、0.1個、1.25枚」、選択された特売情報（提供先、価格、商品名を含む）、更に購入すべき常備品の情報「塩」を、認証された利用者101aに提供する。この提供に際して、料理に必要な商品「牛もも肉」であって特売品「牛もも肉」となっている商品を特徴付けて提示する事ができるため、特売品としての購入を可能にし、更に料理選択に際しても有効に利用できる。

【0025】

【発明の効果】

本発明の買い物情報を提供するサーバ、クライアント、これらのシステム及び買い物情報を提供する方法では、家族情報に基づいて選択された料理に関する全体必要量を自動的に算出するとともに、更に在庫情報とも比較し、利用者の購入を必要とする商品を利用者に提供し、利用者の利便性を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に従う実施例の概略構成を示す構成図である。

【図2】

本発明に従う実施例の買い物情報提供サーバ内の顧客情報データベース302、料理データベース303、商品価格データベース304、在庫情報データベース305のデータ構造を示す図である。

【図3】

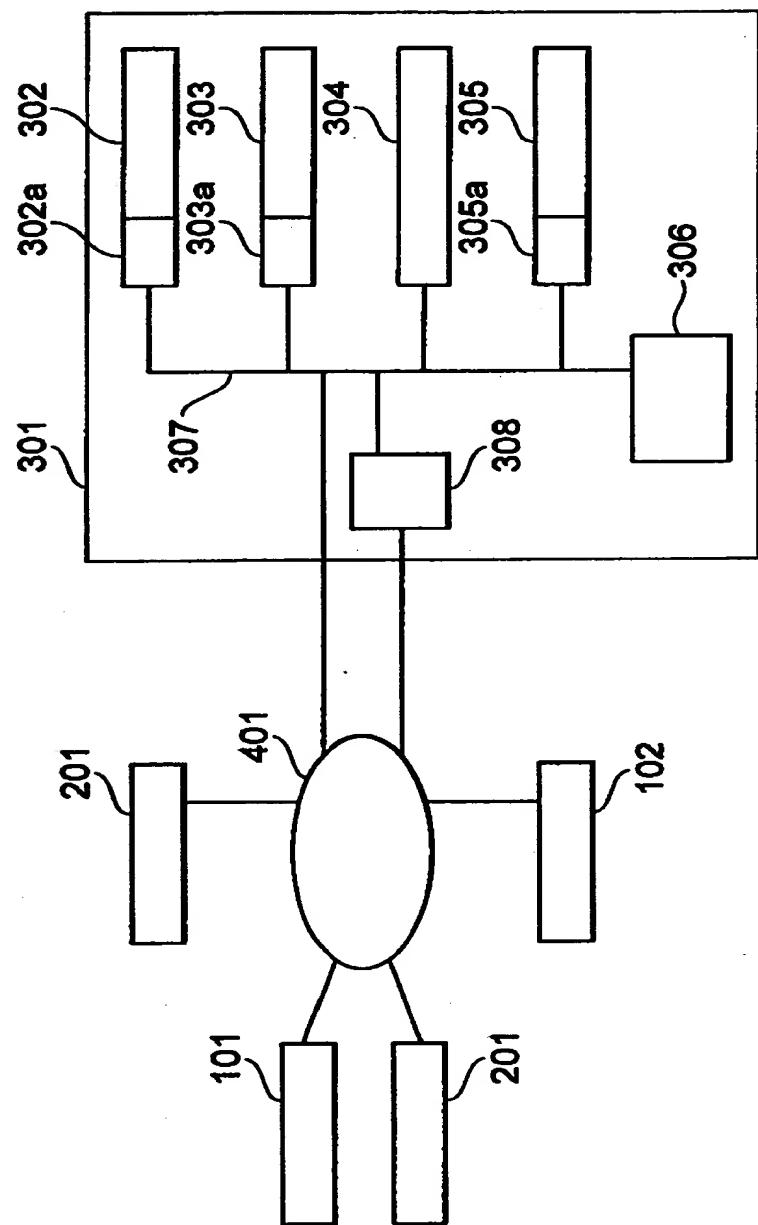
本発明に従う実施例での処理方法を示すフローチャート図である。

【符号の説明】

- 101 クライアント装置
- 201, 202 提供元
- 301 情報提供サーバ
- 401 インターネット
- 302 顧客情報データベース
- 303 料理データベース
- 304 特売品情報データベース
- 305 在庫情報データベース
- 306 演算装置
- 307 データバス

【書類名】 図面

【図1】



【図2】

(a) 顧客情報データベース

利用者ID	パスワード	家族人數	特記事項
A	xxx	5	減塩食
B	yyy	3	中低カロリー

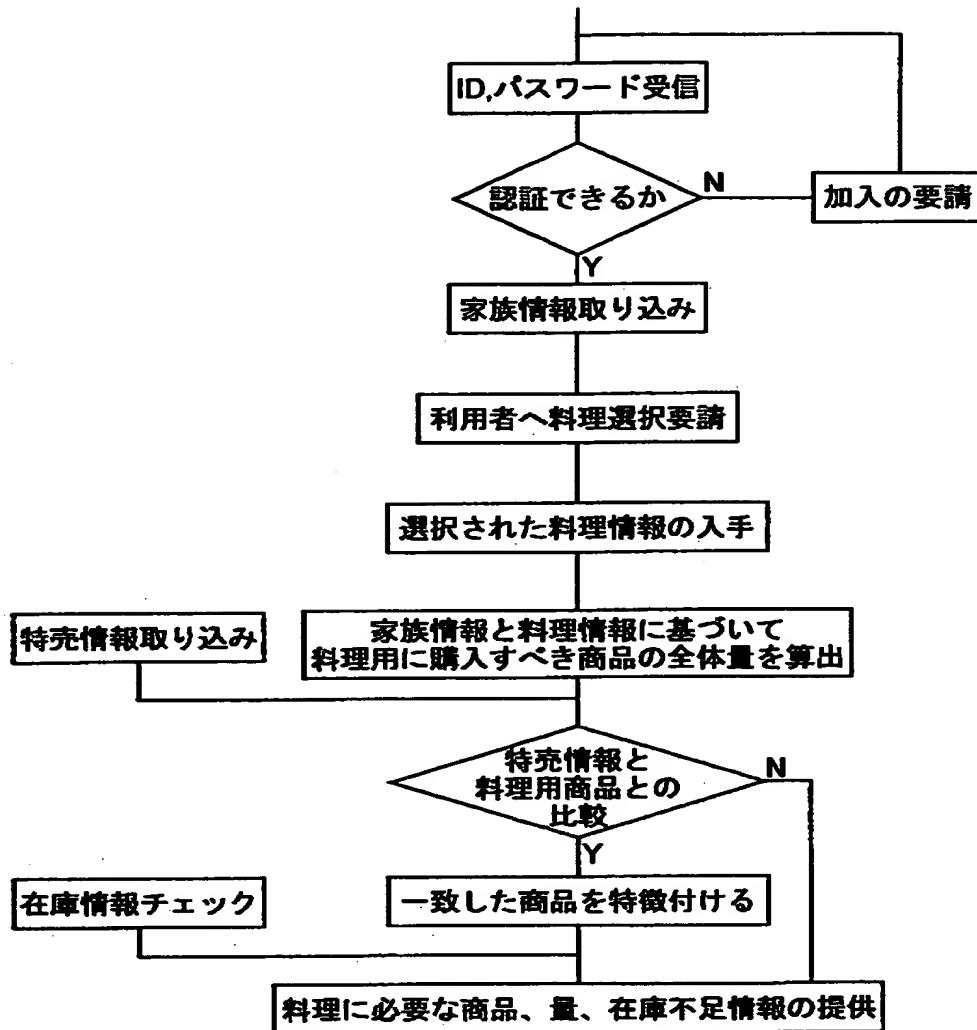
(b) 料理データベース(一人分)

料理	材料	必要量	レシピ	カロリ
厚揚げの生姜焼き	厚揚げ 生姜	0.5枚 0.1個	レシピ1	16カロリ
牛もものたたきと 千切り野菜の ハーブソース	牛もも肉 レタス にんじん きゅうり	100g 0.25枚 0.02個 0.25本	レシピ2	60カロリ

(c) 商品価格データベース

提供元	商品	価格(円)	追加情報
スーパーU	厚揚げ	100	厚揚げが安い
スーパーU	醤油	500	丸大豆醤油が安い
スーパーW	牛もも肉	420	牛が安い
スーパーW	醤油	480	一流ブランド品が安い

【図3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者に料理情報及びそれに必要な商品情報を特売情報と関連させて提供する買物情報提供システムを提供する。

【解決手段】 利用者のIDと利用者の家族情報を対応させて記憶している顧客データベースと、料理項目と、その料理のために必要な材料の種類、その必要量とを対応させて記憶している料理データベースと、提供元と、特売商品と価格とを関連付けて記憶している特売情報データベースとを備え、利用者からの要求に応じて、購入すべき商品情報を、特売情報と絡めて提供し、在庫情報データベースより利用者の常備品のチェックを行い、不足している常備品を加えて御買物リストを作成し、提供する買物情報提供サーバ。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [500247161]

1. 変更年月日 2000年 5月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都世田谷区代田6-12-21

氏 名 荒井 伸也

出願人履歴情報

識別番号 [500245341]

1. 変更年月日 2000年 5月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都渋谷区神宮前3-27-19

氏 名 株式会社クレオ